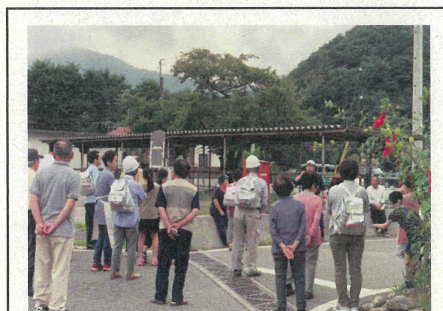


令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	筑北村防災自助力向上事業
事業主体 (連絡先)	筑北村 (総務課総務係 電話 66-2111)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	8,359,200 円 (うち支援金 : 2,284,000 円)

事業内容

- 1 防災備蓄物資 (非常用持出袋、避難確認用旗、防災手帳) を村内全 1800 戸に配付
- 2 筑北村総合防災訓練を 9 月 1 日(日)に実施
 - ①全村民対象の避難訓練を実施 (2,076 人参加)
住民は非常用持出リュックを持ち、避難確認用旗を玄関前に設置して避難
 - ②自主防災組織による安否確認を実施
 - ③災害対策本部との情報伝達訓練を実施
 - ④地区担当職員より、非常用持出品の確認を実施
- 3 各地区における自主防災訓練の実施
各地区の訓練時に非常用持出リュックや避難確認用旗の活用方法等の勉強会を実施



【筑北村地域防災訓練
避難訓練の様子】

【目標・ねらい】

- ①防災意識の向上
- ②地区防災訓練の促進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

村民一人ひとりの防災意識の高揚に大きく寄与できた。

台風 19 号災害では、全地域に警戒レベル 4 避難勧告を発令し、多くの方が避難をしたが、混乱なく避難ができた。

地域住民の声「村で非常用持出リュックを用意してくれたので、事前準備がしっかりでき、すぐに避難をすることができた。」

※自己評価【 A 】

【理由】

多くの村民が災害時の備えを図ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平時から災害に備えるため、村民一人ひとりが防災意識を高めるために、継続して総合防災訓練を実施していく。

自助・共助の防災力を高めるために、自主防災組織による訓練を支援していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある